

11 June 2009 (Linguistics / nagai)

Exam 3: Syntax

“They are flying planes with large sticks.”は意味が曖昧である。句構造を図示して説明せよ。

ID#:

Name:

Score:

Week 10: Semantics

- 「ただし、形態素を構成している音素は意味を持っていません」(94 頁)は削除。
- 20 年前の古新聞から

(17) 12版 1989年(平成元年)10月22日 日曜日

いさか古い資料だが、日本書籍出版協会の会報「書協」の八月号に、国際出版連合(IPLA)が表題した「表現の自由」に関するアンケート調査の結果が掲載されている。今年四月のジュネーブ・ブック・プレス・フェアの来場者が対象で、回答者は四百六十八人。

— あなたは、ある著者の考えに全く賛成しない時、どんなふうに対応しますか？

「その著者の本を発売させない」

「はい一%、いいえ九%」

「次の擁護・奨励書は発売にすべきですか？」

「戦争」はい二五%、いいえ七五%

「人種的偏見」はい二八%、いいえ七二%

「殺人」はい三三%、いいえ六七%

「自殺」はい二六%、いいえ七四%

「どこでいう」が、権力による強制的な措置を指すのか、出版者の自主的な措置をい

うのか資料では不明だが、いずれにせよこの数字に、あれっと思われる向きが少なくないかもしれない。人種的偏見や殺人を肯定するのは、そんなを放置して、犯罪が繰り返されるようになったらどうするのか、と。

しかし、大半は各国の出版・新聞関係者とみられるアンケート回答者は何も偏見や殺人そのものを肯定しているわけにはあるまい。むしろ、それらに反対する人たちが多いという。

「私はあなたの意見に反対だ。しかしあなたが自分の意見を表現し、出版する自由は認める」と、彼らはいっているのだ。そこからは、例えば、人種的偏見をあおるような本が大きく受け入れられることはないという、言論の自由市場と読者に対する信頼が読みとれる。

ちびくろサンボ、ロビン・ホフ、有害図書規制に関する最高裁判決、テレビCMなどへの女性からの抗議……とこのところ表現の自由をめぐる論議が続いている。感情的に結論を急ぐのではなく、冷静に腰をすえて考えたい。

(丸)



発禁論議と
「表現の自由」

- 教科書にある以下の意見に賛成ですか？
「表すべき概念が存在しないなら、それを表すための語も必要ない」(96 頁)

「人間のものの考え方が、言語によって完全に規定されていると考えるのは誤りです」(97 頁)

- 以下の表現はどんな場合に、自然な文となりますか？ 状況を書きなさい。
「屋島は岡山だ」

「春はあけぼのだ」

「妹は男の子だ」